



# Hachioji MAIL NEWS

JR 東日本輸送サービス労働組合 八王子地本  
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION - HACHIOJI



ホームページ

2020.10.21

No. 040



Twitter

## アルコール検知器の故障を隠ぺい？ 論点のすり替え・嘘と誤魔化して、責任を押し付けるな！

先日の早朝「乗務員急病の影響で、三鷹～豊田間の下り線で一部列車が運休」という運行情報が出され、区間運休が発生しました。その後、各職場で「薬服用時の注意」といった趣旨の掲示が貼られました。概要は明けの起床点呼時のアルコール検査で、担当車掌からアルコールを検知したため乗務不能と判断し回送扱いにした事と、その原因が就寝前に服用した風邪薬のため、注意を促すものでした。乗務員は安全を提供するため、普段からお酒や飲食物に相当気を遣っています。就寝前に服用した風邪薬に数時間経っても検知するアルコール分量が入っている事は常識的にありえません。

## 真実は違う！ 社員を信用していないのか！？

今回の事象ではその後に起床した車掌や駆け付けた指導員もアルコールを検知し、当該車掌が本区で再度検査した際は検知をしなかった事から、検知器故障の疑いが強いと思われます。また、今月に入り違う箇所でもアルコール誤検知が発生しています。

この間、会社はお客さま対応やプレス発表を理由に「正しく速やかな報告」を求めてきていますが、約200名のお客さまにご迷惑を掛けたこの事象に対しアルコール検知器や点呼体制の管理責任を棚上げにし、当該車掌に責任を押し付けて誤った情報を発信しています。そもそも、このご時世に睡眠を目的とした乗務の中断時間にアルコールを摂取する乗務員が居るとは思えません。効率化で駅乗泊の対面点呼を廃止して数値管理のみに頼り、嘘と誤魔化しを平然と行う会社姿勢に対し、組合員から怒りの声が多くあがっています。

## 間違いを認め、実態に即した管理体制を取るべきだ！